

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 10月 20日(13:30~14:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 穴倉 福島 奥田 末本 植村 花田 齋藤
小川 矢敷 福田 坂上 蓑輪 吉田 橋本
清水 廣瀬

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	12	3	1	17

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 本人の情報を集めて何がしたいのか何を望んでいるのかを把握できるようにする。 記録を後回しにしようとしているためその場で入力する。 声に出して確認する。 カンファレンス後の情報の共有について考える必要あり。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ケアコラボを活用することで記録等はタイムリーに入力出来ている。 カンファレンス後の情報も共有しやすくなった 本人の気持ちを家人も知らない事が多く 本人も出来ないとおきらめてしまっている為声に出せない それを実現させることも努力が必要

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	12	4	0	17
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	12	2	0	15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	13	3	0	17
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	12	3	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 利用前に情報を共有しスタート出来ている。 現状困っている事 大変なことを聞き取りし本当に必要なサービスを提供している。 慣れていない時期は本人の意思を尊重し利用時間を短くしたり レクなどを工夫し楽しんで頂ける時間づくりをしている。 本人に寄り添い気持ちを聞くことが出来ている。 家族とは利用前から訪問・電話・メールなどでコミュニケーションを取れている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 業務をこなすのでいっぱいになり声掛けが出来ない時がある。 申し送りの内容が多すぎて把握しきれない。 人員不足もありミーティングの時間が取れず本人の声を共有できない時がある。 家族の思いが重く 本人の意思が通っていない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 利用者ひとりひとりに個別で話を聞く時間を作る。 内容を絞って少人数でもミーティングをする。 カンファ時には家族より本人に重点を置いて話をする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 10月 21日(13:30~14:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 穴倉 福島 奥田 末本 植村 花田 齋藤
小川 矢敷 福田 坂上 蓑輪 吉田 橋本
清水 廣瀬

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	11	5	1	17

前回の改善計画

- ・家族からの聞き取りも大事にする
- ・カルテの読み取りを行い、ある程度プランを把握してケアをする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・ミーティングでの情報や家族からの声を把握した対応をしている。
- ・本人からの情報だけでなく家族からの聞き取りで本人の本当の気持ちに気付くことができた。
- ・全員のプランが把握できず 必要な時にカルテを読みケアにあたっている。
- ・家族の思いが優先されていると思うことが多い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	7	8	2	17
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	9	6	1	16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	7	7	2	16
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	12	4	1	17

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ケアプランを読み～したいを理解している。
- ・本人の話を傾聴し共有することでチームで意見交換しアプローチや支援方法に活かすことが出来ている。
- ・本人が気持ちよく過ごせているか感じながら接している。
- ・

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・本人のできること 出来ないことの変化が大きく把握しきれていない。
- ・意思疎通ができるときには目先の～したい に目を向けてしまい目標(ゴール)を意識する段階になった時には本人の意思を確認できない状況になっている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・利用者一人一人に向き合っているかを考える。
- ・目標に対しての振り返りをミーティングで行う。
- ・利用者が何をしたいのか これが出来ると言った声を聞き取り安心に繋げる。
- ・プランを把握しケアをする。
- ・初めの関わりの段階から本人のゴールについて話を聞く。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 10月 21日(13:30~14:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 穴倉 福島 奥田 末本 植村 花田 齋藤
小川 矢敷 福田 坂上 蓑輪 吉田 橋本
清水 廣瀬

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	4	10	2	16

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家人への聞き取り不足。 ・ 利用者に認知症があり自分の思いを伝えられないという先入観をなくして関わる。 ・ ライフプラン2の「できること、できないことシート」の作成、活用を行う
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症ある無しに関わらず皆同じように接している。 ・ 本人の思いを傾聴できている。 ・ 必要なことは訪問時や送迎時 電話等で家人への情報収集が出来ている。 ・ ライフプラン2のシートが活用できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	1	13	3	17
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	15	0	0	17
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	8	8	1	17
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	13	2	0	17
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	11	4	0	17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 少しの体調の変化にもケアラボで共有し経過観察を行ったり家人に連絡する等迅速な対応をしている。 ・ 日々本人の出来ること出来ないことを見極め介助している。 ・ できるサービスでも本人の生活に介入し過ぎることの無いようにCMと現場でお互いの立場から意見を出し合い家族や地域とのつながりを意識したケアが出来ている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフプラン2の「できること、できないことシート」が作成できていない。 ・ 「以前の暮らし方」家人への聞き取りでも把握できないことがある。 ・ 主介護者以外の家族の協力が見えない 他の家族がどう接しているのか分からず戸惑う。 ・ 今の暮らしに目が向いていて以前の暮らしが見えてこない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフプラン2のシートを作成する。 ・ 以前の暮らしを探りそこから大きく外れないような生活の実現を目指し関わる。 ・ 日々の関わりや思いの記録を充実させる。 ・ 本人が納得できているかを重点に置く。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 10月 22 日(13:30~14:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 穴倉 福島 奥田 末本 植村 花田 齋藤
小川 矢敷 福田 坂上 蓑輪 吉田 橋本
清水 廣瀬

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0	2	12	3	17

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・CMがライフサポートプラン②について勉強する必要もある。 ・思い出しの活動はしているが内容を記録に残せていないので活かされていない。 ・民生委員や地域資源についても再度理解し直す必要がある。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフサポートプラン②取り組みが出来ていない。 ・思い出し活動はあまり進んでいない。 ・民生委員や地域資源をケアに取り入れられるように検討出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	7	9	0	16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	7	6	4	17
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	7	9	0	16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	10	6	17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人との関わりの中でこれまでの生活について聞くようにしている。 思い出し活動にもつながっている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で地域の活動の機会が無くなった。 ・地域との関わりは家族がしている 外に出る機会を奪っているのではないか。 ・地域の情報が分からない 地域資源が把握できていない。 ・家族も本人とあまり関わりが無い場合や独居の場合 自宅での生活を把握できない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランにインフォーマルサービスを入れる。 ・近所で力になってくれる方や情報交換出来る人を見つける。 ・日々の関わりや思いの記録を充実させる。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 10月 22日(13:30~14:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 穴倉 福島 奥田 末本 植村 花田 齋藤
小川 矢敷 福田 坂上 蓑輪 吉田 橋本
清水 廣瀬

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0	2	10	5	17

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源としてどんなものがあるのか知る必要がある。 ・夜間訪問のニーズがあるかの確認と訪問できる体制づくりを見直す必要がある。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を調べる方法が分からない。 ・地元の病院などに行った際 活用できそうなサービスの案内やチラシに目を通してている。 ・夜間訪問のニーズがあれば泊りを提案している 夜間訪問の職員体制は難しい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	6	11	0	17
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	10	2	0	17
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5	10	1	0	16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	11	1	1	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・関わり始めは訪問を多く入れて生活状況を知りサービスが過剰にならないように外部業者に委託したり地域を巻き込んで支援している。 ・独居の利用者や家族の負担が多い利用者のケアを厚くすることが出来ている。 ・拒否などで来所されない利用者には訪問に切り替え安否確認 弁当配達 家人への連絡が出来ている。 ・認知症の方の不穏な時の細やかな対応が出来ている。 ・緊急時に柔軟な対応が出来ている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・帰宅願望が強く外に出ようとする利用者に対して気持ちに寄り添い本人が納得するまで一緒に歩いたりする対応が人員的に出来ない時もある。 ・家族主体なことが多く 本人主体にすると家族が困ることがある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者本位の利用が出来るように職員の充実・人員確保・育成に取り組む。 ・日々の関わりを密にして利用者の情報を得る。 ・ニーズに合わせて柔軟な支援を継続しながら家族に対しても新たな提案 ケアの助言を行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年 10月 26日(13:30~14:00)
6. 連携・協働	メンバー	穴倉 福島 奥田 末本 植村 花田 齋藤 小川 矢敷 福田 坂上 蓑輪 吉田 橋本 清水 廣瀬

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	10	5	0	17

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> これから開催される地域行事の情報収集をする。 参加できる活動については対策を行ない可能な限り参加できる環境を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で外出制限があり地域行事への参加は困難 コロナが落ち着いてきてから 少人数で分散して安心安全に地域への外出を行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3	8	5	1	17
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	4	10	16
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	0	2	14	16
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	1	4	11	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ZOOMなどを使って一部の会議が可能になった。 医療機関等他部署との関わりは保っている。 担当者会議など時間を短くしたり参加人数を減らして開催し他のサービス事業所との会議に参加できている。 介護の問い合わせや相談など親身になって話を聞いている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で地域の方との交流がなかった。 コロナ禍で一部の会議しか参加できていない。 自治体や地域包括センターの会議には時間の都合が付きにくく参加できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> サロンに参加される方にきらめきをもっと知ってもらい地域に困っている人がいないか 視野を広げ情報を集める。 利用者の地域の民生委員を知り活動やイベントの情報を得る。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 10月 26日(13:30~14:00)

7. 運営

メンバー 穴倉 福島 奥田 末本 植村 花田 齋藤
小川 矢敷 福田 坂上 蓑輪 吉田 橋本
清水 廣瀬

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	3	11	2	16

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進の在り方や参加してもらうための工夫を考える必要がある。 ・課題や声を共有するための横のつながりを意識、多職種でも連絡を取りやすくする環境を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で運営推進会議の開催自体ほぼ無かった。 ・運営推進会議が何のためにあるのか理解してもらう必要がある。 ・

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	5	7	3	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	10	6	0	16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	5	8	3	16
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1	1	5	7	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者・家族からのご意見 苦情は共有し検討して改善すべき点は改善策を部門で話し合い改善している。 ・受け入れが難しいご意見にはきちんと説明を行っている。 ・地域見守り隊の活動に参加できている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で開催できない 開催できても積極的に呼べない。 ・運営推進会議に直接関わる事が無い。 ・散髪など利用者の暮らす地域の情報が足りず事業所のある地域が強くなりすぎる。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議とは何か 何のためにするのかを知ってもらう。 ・コロナ禍でも安心・安全に会議が行われるにはどうすればいいのか話し合う。 ・運営推進会議で話し合われた内容を職員にも伝える。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 10月 27 日(13:30~14:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 穴倉 福島 奥田 末本 植村 花田 齋藤
小川 矢敷 福田 坂上 蓑輪 吉田 橋本
清水 廣瀬

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	7	9	1	17

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議が開催されるとなった時点で参加する職員を決め勤務調整を行なう ・職員同士ヒヤリハットが起きた場合は共有してその内容を紙に記入する。 ・研修記録をミーティングなどで共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・会議が開催されないもしくは 開催が減った。 ・ヒヤリハットはケアラボを活用し情報共通しやすくなった。 ・ヒヤリハットや事故報告は他人事になっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	11	3	0	16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	8	6	2	16
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	6	10	16
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	10	5	1	17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・リスクに対する認識を持ち 率先してヒヤリハットをあげている。 ・職場内の研修にはほぼ参加できている。みんなが参加しやすい時間帯に2度開催されていたり 後日映像を観て受講出来て参加しやすい。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットがその都度入力できずそのままになってしまった事があった。 ・外部研修は中止になることが多かった。 ・日々の業務で精一杯で新たなことにチャレンジする気持ちが余裕がない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット・介護事故の分析をしっかり行い共有しリスクマネジメントしていく。 ・積極的に研修に参加して皆に共有し知識を広めよう。 ・他部署との連携を円滑にできるようにする。 ・ 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 10月 27日(13:30~14:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 穴倉 福島 奥田 末本 植村 花田 齋藤
小川 矢敷 福田 坂上 蓑輪 吉田 橋本
清水 廣瀬

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	9	6	1	16

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度を必要な時に正しいアドバイスをするために担当を決め勉強会を開く必要がある。 ・物を管理する場所を決め、職員間で共有、管理を徹底する。 ・利用者の体調の変化に気づいた時点で連絡帳や送迎時などで家族に報告を行なう。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人制度に該当する利用者が無く 勉強会は開かれていない。 ・物の管理は出来ていない。整理・整頓・清掃 皆で心がける必要あり。 ・利用者の体調の変化 気づきは職員間共有し早い段階で家人へ伝えられている。 ・看護師から家人へ連絡してもらするなど専門的なアドバイスや受診の必要性を伝えられるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	10	7	0	0	17
②	虐待は行われていない	12	5	0	0	17
③	プライバシーが守られている	5	8	4	0	17
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	2	0	0	3
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	12	1	1	17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束 虐待に繋がると思えることは敏感にとらえている。職場内の研修も毎年参加している。 ・本人が安心・安全に過ごして頂く時間を大切にしている。 ・利用者の人権・プライバシーを守り業務を行っている。 ・キャビネットや薬保管庫の戸締りは確実にされていた。 ・ベッドからの転落など本人の安全のための拘束も行わないため 安全対策に十分気を配り 事故にならないためにどうすればいいか考えて行動している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全を重視し過ぎて本人らしさを出せなくしている。 ・ホールで利用者の話をしてしまう事がある 内容を聞かれても分からないだろうとの思いがあるのではないか。 ・トイレへの誘い言葉に注意しなければいけないと思うことがある。 ・個人情報ファイルが出ていることがあった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人制度が必要になりそうな利用者がある。制度についてみんなで考える。 ・利用者がいるところで個人情報の話をしない。 ・物品は誰にでも分かるように管理する。 	